

関係法規Ⅱ	1 単位 (15 時間)	3 年後期	柏 静子	実務経験 有・ 無
-------	--------------	-------	------	-------------------------

【授業のねらい】

看護をとりまいている関係法規を学び、看護に役立てる基盤とする。

単 元	内 容	方法	時間
薬事関連法規	1. 薬事法 2. 薬剤師法 3. 毒物及び劇物取締法 4. 麻薬及び向精神薬取締法 5. その他の薬事関連法規	講義	14
保健衛生法規	1. 地域保健法 2. 母体保護法 3. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 4. 母子保健法 5. 老人保健法 6. その他の保健衛生法規		
予防衛生法規	1. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 2. 結核予防法		
生活衛生法規	1. 食品衛生法 2. 環境基本法 3. その他の公害関係法規		
労働関連法規	1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. その他の労働関係法規		
	履修認定		1

【成績評価の方法】

筆記試験

* 不合格者は再試験とし、再評価

教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令	参考書	看護六法
-----	--	-----	------

看護管理と 国際・災害看護	1 単位 30 時間	3 年前期	柏 静子 山尾 学	実務経験 ①・無
------------------	------------	-------	--------------	-------------

【授業のねらい】

看護活動を円滑にするための看護管理のあり方を理解する。
看護の国際貢献や災害看護に関する基本的な理解を深める。

【目標】

1. 看護管理の基本的知識を理解する。
2. 国際看護の基本的知識を理解する。
3. 災害看護の基本的知識を理解する。

単 元	内 容	方法	時間
看護管理	1. 看護管理過程 2. 組織・看護管理システムと機能 3. 看護の質の保障と看護管理 1) 看護サービスの組織化 2) 安全管理体制 4. 看護管理のスキル 5. 看護に関する法律・制度	講義	16
看護の国際化	1. 国際看護学の定義 2. 世界の健康問題と看護 3. 看護の国際協力の仕組み 4. 異文化理解 5. 国際看護活動の展開	講義	6
災害看護	1. 災害看護の概念と構造 2. 災害と健康 3. 災害の実際と看護活動 4. 心理的回復の過程	講義 演習	6
	履修認定		2

【成績評価の方法】

筆記試験

* 不合格者は再試験とし、再評価

教 科 書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 系統看護学講座 統合分野 医学書院 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学	参 考 書	これからの看護管理（メディカ出版） 看護管理その1（日本看護協会出版会） 国民衛生の動向（厚生統計協会）
-------------	--	-------------	--

診療の補助技術における安全	1 単位 (30 時間)	3 年前期	宗像 祐二	実務経験 ①・無
---------------	--------------	-------	-------	-------------

【授業のねらい】

医療の質と安全の確保に必要な思考と技術について学ぶ。

【目標】

1. 医療事故防止の考え方が理解できる。
2. 医療安全を推進・管理するために必要な能力を説明することができる。
3. リスクマネジメントのプロセスがわかる。
4. 起こりやすい医療事故とその対策を理解する。

単 元	内 容	方法	時間
医療安全とリスクマネジメントの概念	1. 医療事故防止に有用な理論と事故防止対策 2. コミュニケーションエラー防止 3. 医療安全に必要な技能 4. 医療安全管理に関する基本的な考え方 5. リスクマネジメント	講義	4
安全で確実な与薬 事件事例から事故の原因と対策を考える	1. 注射・点滴 1) 消毒薬を誤って静脈注射した事故 2. 内服・外用・麻薬 1) 過剰与薬 2) 時間間違い 3) 重複与薬 4) 患者間違い 5) 与薬量間違い 6) 規格間違い	講義 演習	8
安全なチューブ類の管理 事件事例から事故の原因と対策を考える	1. チューブ・カテーテル類 1) 気管内チューブ・気管カニューレ 2) 静脈ラインの予定外抜去 3) 経鼻胃管 4) 胃瘻カテーテル 5) 胸腔ドレーン 6) 硬膜外カテーテル 7) 膀胱内留置カテーテル	講義 演習	8
医療機器の管理と操作 事件事例から事故の原因と対策を考える	1. ME 機器の特徴と安全対策 2. 生体情報モニターの操作とトラブル対処法 3. 医療機器の安全使用について 1) 人工呼吸器 2) 輸液ポンプ	講義 演習	8
	履修認定		2

【成績評価の方法】

筆記試験

* 不合格者は再試験とし、再評価

教科書	系統看護学講座 統合分野 医学書院 看護の統合と実践[2] 医療安全	参考書	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術
-----	---------------------------------------	-----	------------------------------

臨床看護の実践	1 単位 (30 時間)	3 年後期	矢野 優子	実務経験 ①・無
---------	--------------	-------	-------	-------------

【授業のねらい】

多重課題を通して、知識と技術を統合した適切な判断を学び、自己の看護実践能力を養う。

【目標】

1. 複数患者に対して優先順位を考えた行動計画が立案できる。
2. 看護実践能力に応じ、メンバーと連携しながら状況に応じた看護ケアの実践を試みる。
3. 多重課題の看護実践をとおして、自己の実践能力を考察できる。

単 元	内 容	方法	時間
多重課題の看護実践	1. 事例（患者 1 名）に対する多重課題の演習 1) 多重課題における看護の視点 2) 援助における根拠の明確化 3) 援助を行うための行動計画の立案 4) 状況設定に合わせた患者への援助	演習	12
複数患者の援助計画 立案	1. 事例紹介と今後の進め方	講義	2
	2. 複数患者に実施すべきケア計画の立案 3. 複数患者間のケアの優先順位をふまえた計画立案	GW	6
	1. 看護実践中に考えられる割り込み状況と具体的対処 方法 2. 患者の状況に合った看護技術の習得	技術 練習	6
看護実践能力の向上	1. 看護技術の総合的評価の視点	講義	2
	履修認定		2

【成績評価の方法】

筆記試験 70%・レポート 30%

* 不合格者は再試験とし、再評価

教科書	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 系統看護学講座 統合分野 医学書院 看護の統合と実践[2] 医療安全	参考書	医療安全ワークブック 医学書院
-----	---	-----	--------------------

看護研究	1 単位 (30 時間)	3 年前期	坂井 聖康	実務経験 ①・無
------	--------------	-------	-------	-------------

【授業のねらい】

看護における研究の意義とプロセスを学び、看護研究の基礎的能力を養う。

【目標】

1. 看護研究の意義・目的が理解できる。
2. 看護研究の構成が理解できる。
3. 研究の進め方が理解できる。

単 元	内 容	方法	時間
看護研究の基礎	1. 看護研究とは 1) 研究の目的 2) 研究の種類 3) 看護研究の倫理的問題 4) 個人情報の保護 2. 研究テーマの設定と研究計画の策定 3. 研究計画の実施 4. 論文作成と文献資料	講義	6
看護研究の実際	1. 研究主題の設定 2. 研究関心・研究目的 3. 文献検索・文献検討 4. 研究論文の作成、抄録の作成 5. 報告会	演習	24

【成績評価の方法】

講義・グループワークへの参加度 (40%)、レポート (40%)、発表 (20%) によって総合的に評価する。

教科書	系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院	参考書	基本がわかる看護研究ビギナーズ NOTE
-----	-------------------------	-----	----------------------